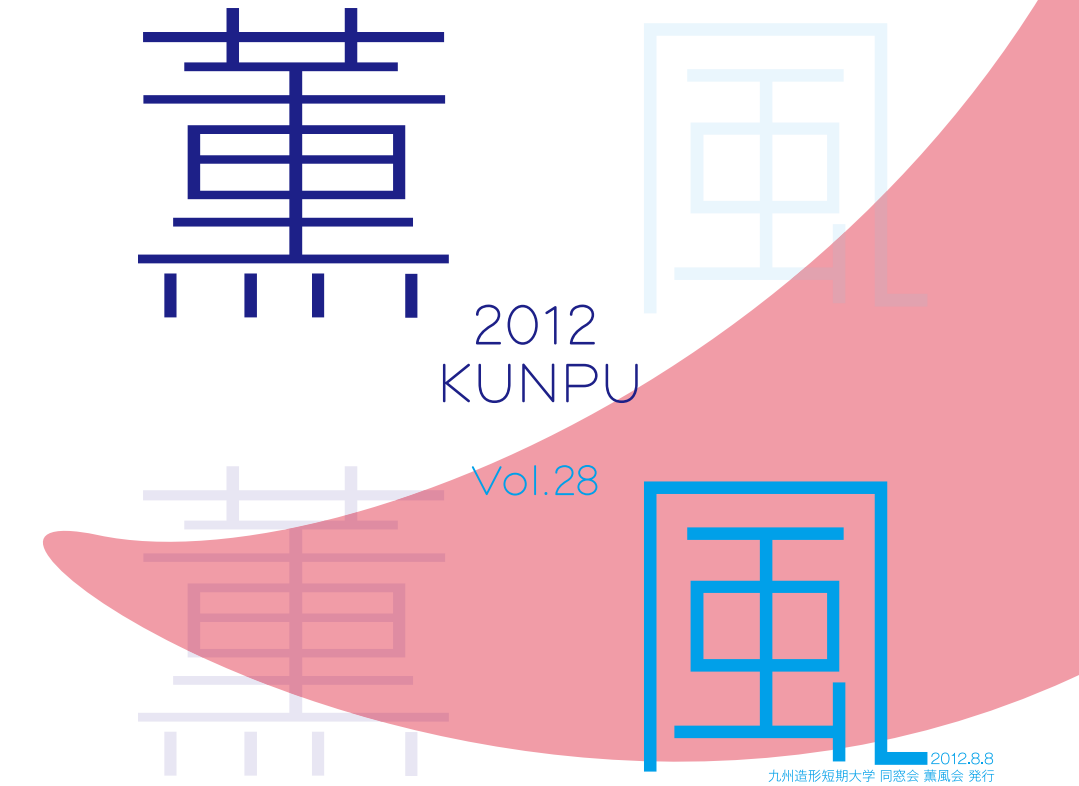




ZO-TAN薫風会が、この夏スタートします(4つの新システムが8月8日に同時スタートします)
同窓会HPや同窓会交流情報システム「アルムネット」もスタートします。
 2012年夏、九州造形短期大学同窓会薫風会が最も新たにスタートします。
 同窓会ホームページや同窓会管理システム「アルムネット」そして、常任幹事会でもスタートします。それに伴い、同窓会理事会もリニューアル・パワーアップ?して、天気情報やHOTな情報をメルマガジン（同窓会ホームページ）にて、定期的に会員の皆さまにお届けします。同窓会機関紙「薫風」も今まで通り、年に1回発行します。どうぞ、ご期待ください。
まずは、薫風会ホームページやアルムネットにアクセス！出逢いの扉を開いてください。

新会長挨拶 安部 順是

新年度「薫風」の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。
 川島のぶ子 前会長には6年間という長い間、本同窓会の発展の為に、絶大な貢献を頂きました。この場をお借りし心よりお礼を申し上げます。平成23年度から同窓会会長をさせて頂いております。安部でございます。微力ではありますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
 昨年の東日本大震災では未曾有の被害が生じ、人知では推し量れないことが起こりました。また、今年7月には記録的な豪雨により、九州地方を中心に大きな被害が発生しました。被災されました方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧、復興を願っております。
 九州造形短期大学同窓会も43回卒業生を新会員にお迎えし、会員総数9,872名となりました。来年の3月には、1万人を超える会になります。6月23日に行われた総会において、就任後、この1年間の念願でもありました同窓会HPの立ち上げと組織運営のIT化導入、会則改正、同窓会役員改正の提案を行いました。全議案のご承認を頂きましたので、ご報告致します。これにより1万人の会員、卒業生の皆さまが、自由に情報交換、交流、親睦を図る事が出来るようになります。全国の同窓会会員、美術愛好者の方々に、この素晴らしい母校、九州造形短期大学や卒業生の作品、活動をご紹介することが出来ます。これまで余り行われなかった、研究発表の助成、クラス会の助成、講演会、発表会の企画運営、常任幹事会等を行い、学生や同窓生の支援、美術愛好者や表現者を増やす活動を積極的に展開してまいります。
 平成23年度卒業制作展から、同窓会大賞と同窓会賞4点を設定いたしました。記念すべき第1回同窓会大賞は、クラフトデザインの浦川佳奈さんに差し上げる事にしました。約半年間コソコソと取り組まれたとお聞きしております。実に素直な美しい染色作品でした。他の多くの作品も2年間よくもこまでと、感服しながら拝見しました。ご指導下さいました諸先生や、関係の皆さまに敬意を表しますと共に、43回卒業生の皆さんの益々の活躍を心から期待しております。
 成長する母校、九州造形短期大学と本同窓会に、今後とも皆さまの変わらぬ、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第42回(平成23年度)同窓会総会・懇親会報告



平成23年6月25日(土)14:00より九州造形短期大学 講義室2にて、第42回総会が開催されました。総会は川島会長の挨拶の後、議事へと移り平成22年度事業経過報告及び収支決算報告、監査報告、平成23年度事業計画案及び収支予算案、役員改正案について、報告と説明があり、いずれの議案も審議の上、満場一致で承認されました。役員改正案承認により、川島会長から安部新会長を始めとする新役員15名に同窓会の運営が引き継がれました。その後、15:00より会場を九州産業大学クラブハウスに移し、懇親会に入りました。安部新会長の開会挨拶、続いて来賓の中村産業学園 一ノ瀬理事長、九州造形短期大学 吉武学長にご挨拶を頂きました。その後、谷口元学長の乾杯の音頭で宴がスタートし、会場内は、特別会員・教職員の皆様や沢山の会員の参加で、和気あいあいと進みました。名誉称号を授与された田辺先生の挨拶の後、川島前会長を始め、退任された全理事に感謝状と記念品が安部新会長から授与されました。学科主任の松永先生による万歳三唱で盛会の内に散会となりました。その後、参加者の集合写真を撮影し、来年の再会を誓い合いました。

第43回(平成24年度)同窓会総会・懇親会報告



平成24年6月23日(土)14:00より九州造形短期大学 プレゼンテーション室にて、第43回総会が開催されました。総会は大黒理事の司会、山本理事の議事進行で行われました。安部会長の挨拶の後、議事へと移り平成23年度事業経過報告及び収支決算報告、監査報告、会則改正案、会則改正による同窓会新役員案、平成24年度事業計画案及び収支予算案、IT化導入案について、報告と説明があり、いずれの議案も審議の上、満場一致で承認されました。その後、15:00より会場を九州産業大学クラブハウスに移し、懇親会に入りました。山本理事が司会進行を務め、安部会長の開会挨拶、続いて来賓の中村産業学園 一ノ瀬理事長、九州造形短期大学 吉武学長にご挨拶を頂きました。その後、木戸元学長の乾杯の音頭で宴がスタートし、ゆっくりと歓談しながら、懐かしい歌声に包まれました。特別会員・教職員の皆様や1期から43期まで沢山の会員の参加で、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。名誉称号を授与された岩田先生の挨拶の後、新会員（今年は14名の参加がありました）の自己紹介や記念品抽選会も行われました。その後、学科主任の松永先生による万歳三唱で盛会の内に散会となりました。新しく造成された庭園で、昨年同様に参加者の集合写真を撮影し、一年後の再会を誓い合いました。ご参加下さいました皆様、誠にありがとうございました。今年、ご都合で参加出来なかった皆様には、来年の6月お会い出来ますよう、お待ちしております。お元気で過ごして下さい。来年の懇親会からは、学年幹事会・常任幹事会（代表 山本常任幹事長）が懇親の会を企画運営致します。来年も大盛会となりますよう皆様のお力添えと、ご意見ご要望を同窓会事務局にお願い致します。

薫風会懇親会のネーミングと幹事会メンバー募集について

同窓会総会後の懇親会に新しく「名前」をつけたいと考えています。皆様から、親しみやすく、参加したくなるようなネーミングや企画を募集します。
 ぜひあなたのアイデアをお待ちします。また、懇親会を企画・運営するメンバーも同時募集します。楽しく盛り上げてくれる方、人のお世話が好きな方、薫風会と母校の発展ために、ご協力をお願い致します。
 ハガキかメール等で、下記窓口にて、お名前・連絡先・卒業年・コースをお書きの上、お知らせください。
 後日、同窓会事務局よりご連絡させて頂きます。
 九州造形短期大学同窓会 懇親会ネーミング・幹事会募集事務局

薫風会交流情報システム(アルムネット)が8月よりスタートします。

同窓会システム アルムネットのご紹介

アルムネットは同窓会オフィシャル会員サイトです。つながしい友人との交流や同窓会ネットワークを通じた新たな出会いの場を提供いたします。同窓会会員限定サイトなので、安心してご利用いただけます。



ホームページ <http://kzac.alumnet.jp>

※詳しい情報やアクセス方法などは、ホームページや薫風会交流情報システム「アルムネット」で、ご確認ください。

寄付金のお礼

同窓会機関紙「薫風」発行の際、課外活動助成や同窓会運営などの活動資金に充てる協賛金を会員の皆さまにお願いしましたところ、平成23年度は、42名の方々より合計105,320円のご寄付を頂きました。大切に有効活用をさせて頂きます。
 同窓会役員一同、厚く御礼を申し上げます。今年も、さまざまな企画が現在進行中です。今後共変わらぬ、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

同窓会資料

同窓会新役員紹介

同窓会役員改正（平成24年6月23日会則改正により）

同窓会会長	安部 順是
副会長	三笠 敏和
副会長	大黒 尚子
事務局 長	大村 眞司
常任幹事長	山本 利致
事業企画長	田中 稔大
広報企画長	有村 直大
常任 理事	都知木 亮（事務局局長補佐を兼務）
常任 理事	有山 真奈美
常任 理事	川崎 加代子
常任 理事	小山 元子
監事	福本 尚美
監事	柴田 和子
顧問	石垣 要一郎
名誉 会長	吉武 弘喜
名誉 会員	歴代会長を名誉会員として理事会で推薦する。但し、本人の意思確認が取れた者に限る。
退任	石崎 真純 平成23年10月31日付（都合により）

24年度事業計画

<理事会、総会予定>
 4月14日 第1回定例会事会 14:00～16:00
 6月9日 第2回定例会事会 14:00～16:00
 6月23日 第43回九州造形短期大学同窓会定期総会・懇親会開催
 7月7日 第3回定例会事会 14:00～16:00
 10月20日 第4回定例会事会 14:00～16:00
 12月22日 第5回定例会事会 14:00～16:00
 2月16日 第6回定例会事会 14:00～16:00

<式典、懇親会、審査会、協賛予定>
 4月 九州造形短期大学入学式出席
 6月 九州造形短期大学同窓会定期総会・懇親会開催
 7月 九州造形短期大学同窓会役員懇親会
 10月 香椎祭協賛
 12月 九州造形短期大学同窓会役員懇親会
 2月 九州造形短期大学卒業制作展審査会、同窓会大賞等選出
 3月 九州造形短期大学学位授与式出席
 卒業祝賀会出席（同窓会大賞、同窓会賞授与、入会記念品贈呈）

<その他予定>
 ・HPの運用開始（8月）
 ・同窓会管理システム、アルムネットの運用開始（8月）
 ・薫風発行送付（8月）
 ・常任幹事会の発足（8月）
 ・研究発表の助成、クラス会の助成（6～3月）
 ・講演会、発表会の企画開催（6～3月）

九州造形短期大学同窓会会則改正

第一章 総 則	第四章 理 事 会	但し、一部を基本財産に繰り入れたときの残金は次年度に繰越するものとする。
第1条（名称） 本会は九州造形短期大学同窓会薫風会と称する。	第21条 本会に執行機関として理事会を置く。 理事会は会長、副会長、事務局長、常任幹事長、事業企画長、広報企画長、常任理事で構成する。	第44条 本会役員は1人になる場合でもその元本を消費することはできない。但し、総会の議決により第一号～第四号の第3条（目的）に準ずるものであれば消費することができる。
第2条（本部） 本会は本部を福岡市東区松丘台2-3-2九州造形短期大学 学内に置く。	第22条 理事会は会長が必要と認めたときおよび理事の中より請求があったとき会長が招集する。	第45条 本会の収支予算は毎年年度理事会で編成し総会においてこれを定め、その決算是監査を終った次年度総会に提出して承認を受けるものとする。
第3条（目的） 本会は会員相互の交流親睦を深め、その向上発展を期するとともに母校九州造形短期大学の発展に寄与することを目的とする。 造形芸術の薫陶しを伝え、実務経験者や美術愛好者を増やす活動を行う。さまざまな活動を通して、広く社会に貢献する。	第23条 理事会の開催は期日より1週間前に会議の目的、日時および場所を記載し、通知する。	第46条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
第4条（事業） 本会は前条の目的を達成するための事業を行う。 1. 会費の徴収、機関紙、情報の発行。 2. 会員の交流および親睦に関する事業。 3. 九州造形短期大学と会員との関係を緊密にするために必要な事業。 4. 九州造形短期大学の発展に寄与するために必要な事業。 5. 学術、文化に関する研究の援助と講演会、発表会の開催事業。 6. その他、本会の目的を達成するために必要な事業。	第24条 理事会が行う事項は次の通りである。 1. 本会会則に基づく会務の執行。 2. 本会資産の管理運営。 3. 事業計画および収支予算の編成。 4. 事業報告および収支決算の報告。 5. その他総会および委嘱された事項の議決執行。 理事会は3分の2の出席をもって成立する。 但し、委任状は出席とみなす。	第七章 支 部 第47条 正会員は理事会の承認を得て地方支部を組織することができる。支部会則は本会会則に準ずる。 第48条 支部の名称はその地域を含め九州造形短期大学同窓会薫風会○○支部とする。 第49条 支部には支部役員を置く。 支部長1名、副支部長1名、支部委員若干名。 任期は2年とし再選をさたけない。
第5条（会員） 本会は正会員、特別会員、名誉会員の三種とする。 1. 正 会 員 九州造形短期大学および九州芸術専門学校を卒業した者。 2. 特別会員 九州造形短期大学の教職員および元職員であった者。 3. 名誉会員 本会発展のために貢献した者で、理事会の推薦を受け総会の承認を得た者。	第25条 理事会は会長とする。	第50条 支部長は支部の代表として支部会務を総理し、本会に対しては常に連絡を密にし支部役員、支部事務所、支部会員の状況および異動を本会に報告するものとする。
第6条（会費） 本会の正会員は入会時に会費として同窓会会費20,000円を納めなければならない。	第26条 議長は会長とする。	
第7条（役員） 本会は次の役員を置く。 会長1名、副会長2名、事務局長1名、常任幹事長1名、事業企画長1名、広報企画長1名、常任理事5名、監事2名、名誉会長1名、顧問1名とする。 名誉会長、顧問は幹事（役員）は、正会員の中心選出する。会長、副会長、事務局長、常任幹事長、事業企画長、広報企画長、常任理事、常任幹事、幹事以外の役員より選出し、総会の承認を得る。 名誉会長は九州造形短期大学学長とする。 顧問は九州造形短期大学教職員及び本会に特別に功勞のあった者のうちから理事の推薦により総会の承認を得て、会長から任命を受ける。 1年次で25名以内を学齢数として選出する。その中より1名を常任、常任幹事1名を選出し、本会に報告する。学年幹事として常任幹事は業務することができ、常任幹事は常任幹事会を構成し、その付託事項を処理する。	第27条 理事会の議決は出席者の過半数をもって決する。	
第8条 本会は本部を福岡市東区松丘台2-3-2九州造形短期大学 学内に置く。	第五章 総 会	
第9条 会長は本会を代表し、総理する。 第10条 副会長は会長を副し、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。 第11条 事務局長は総会の議決、会費の徴収、議事録の作成、その他本会の事務一助にあたる。 第12条 常任幹事長は会長の受託し、常任幹事会の円滑な運営にあたる。 第13条 事業企画長は本会の定款第4条の企画運営にあたる。 第14条 広報企画長は本会の広報企画運営にあたる。 第15条 常任理事は本会の会務の管理、委嘱された事項の執行にあたる。 第16条 監事は会計の監査をする。 第17条 役員は任期3年とする。但し、再選をさたけない。 第18条 役員は任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を継続するものとする。 第19条 役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を継続するものとする。 第20条 名誉会長、顧問は本会の諮問に応じる。	第28条 本会に議決機関として総会を置く。 第29条 総会は定時総会および臨時総会とする。 第30条 定時総会は毎年1回会計年度終了後3ヶ月以内に行うことができる。議長が招集する。 第31条 臨時総会は理事会が必要と認めたときは会員総数の30分の1以上より開会をもって会議の目的事項を示した請求のあったとき会長が招集する。 第32条 総会の招集は、その会議の議決日時および場所を記載した通知文又は機関紙、新聞をもって少なくとも2週間以前に通知しなければならない。 第33条 次の事項は総会に提出して承認を受けなければならない。 1. 事業報告および収支決算。 2. 事業計画および収支予算。 3. 基本財産。 4. その他、本会の運営に関する重要な事項。 総会の事項はあらかじめ決められた事項以外にわたることはできない。但し、会長が緊急の必要があると認め大黒理事との限りである。 第34条 総会の議長は総会の30分の1以上の出席を必要とする。 但し、委任状は出席とみなす。 第35条 総会の議長は出席正会員のうちから互選する。 第36条 総会の議長は出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときには会長の決するところによる。 第37条 総会の議長は出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときには会長の決するところによる。 第38条 総会の議長は出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときには会長の決するところによる。 第39条 総会の議長は出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときには会長の決するところによる。	1. この会則は昭和45年3月20日より実施する。 2. この会則は昭和49年8月25日より実施する。 3. この会則は昭和52年8月21日より実施する。 4. この会則は昭和57年5月23日より実施する。 5. この会則は昭和61年7月1日より実施する。 6. この会則は昭和63年6月19日より実施する。 7. この会則は平成18年7月20日より実施する。 8. この会則は平成14年7月13日より実施する。 9. この会則は平成15年7月26日より実施する。 10. この会則は平成17年7月23日より実施する。 11. この会則は平成24年6月23日より実施する。
第10条 会長は本会を代表し、総理する。 第11条 事務局長は総会の議決、会費の徴収、議事録の作成、その他本会の事務一助にあたる。 第12条 常任幹事長は会長の受託し、常任幹事会の円滑な運営にあたる。 第13条 事業企画長は本会の定款第4条の企画運営にあたる。 第14条 広報企画長は本会の広報企画運営にあたる。 第15条 常任理事は本会の会務の管理、委嘱された事項の執行にあたる。 第16条 監事は会計の監査をする。 第17条 役員は任期3年とする。但し、再選をさたけない。 第18条 役員は任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を継続するものとする。 第19条 役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を継続するものとする。 第20条 名誉会長、顧問は本会の諮問に応じる。	第39条 総会の議長は出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときには会長の決するところによる。 第40条 本会資産は基本財産と運営資金に分けて会長が管理する。 第41条 基本財産は基本金およびその他の基本財産に編入される資産で構成される。 第42条 運営資金は基本財産以外の財産でいい。 第43条 本会の運営に必要な経費は会費、事業に必要と認め収入および寄附金その他の運営資金をもって代出し、決裁において剰余金あるときはその一部又は全部を基本財産に繰り入れる。	上記のとおり補填していることを証明する。 平成24年6月23日 九州造形短期大学同窓会 会長 安部 順是 印

会計報告・計画

<収入の部>	<収入の部>
科 目	平成23年度収支決算
前年度繰越金	2,278,311
同 窓 会 費	1,560,000
交 通 費	3,000
記 念 事 業 費	0
雑 収 入	0
合 計	3,841,311
※繰入金内訳：寸志(129,000円)、寄付金(105,320円・42名)、懇親会会費(78,000円)含む	
<支出の部>	<支出の部>
総 会 費	250,000
入会記念品費	180,000
理事会活動費	180,000
交 通 費	180,000
通 信 費	650,000
印刷費	420,000
データ管理費	60,000
事務費	30,000
広報費	50,000
雑 収 入	10,000
予 備 費	51,311
交 際 費	50,000
課外活動助成金	50,000
積 立 金	100,000
計	2,281,311
次年度繰越金	1,560,000
合 計	3,841,311
※繰入金内訳：寸志(129,000円)、寄付金(105,320円・42名)、懇親会会費(78,000円)含む	
科 目	平成24年度収支決算
前年度繰越金	2,146,800
同 窓 会 費	1,250,000
交 通 費	3,000
記 念 事 業 費	1,000,000
雑 収 入	0
合 計	4,399,800
※繰入金内訳：寸志(129,000円)、寄付金(105,320円・42名)、懇親会会費(78,000円)含む	
<支出の部>	<支出の部>
総 会 費	250,000
入会記念品費	150,000
理事会活動費	80,000
交 通 費	140,000
通 信 費	940,000
印刷費	300,000
データ管理費	0
事務費	10,000
広報費	50,000
雑 収 入	10,000
予 備 費	39,800
交 際 費	50,000
課外活動助成金	50,000
積 立 金	0
企 画 活 動 費	1,080,000
計	3,149,800
次年度繰越金	1,250,000
合 計	4,399,800
※繰入金内訳：寸志(129,000円)、寄付金(105,320円・42名)、懇親会会費(78,000円)含む	

財産目録 (自：平成23年4月1日～至：平成24年3月31日)	監査報告
当り方銀行（金庫支店）定期預金 2,100,000 福岡銀行（金庫支店）定期預金 10,000,000 福岡銀行（金庫支店）普通預金 2,146,800	監査の結果適正妥当相違ないものと認めます。
貸借対照表 (自：平成23年4月1日～至：平成24年3月31日)	平成24年6月1日 監事： 福本 尚美 印 監事： 柴田 和子 印
借 方	貸 方
現金 0	基本金 10,000,000
普通預金 2,146,800	記念事業 2,100,000
定期預金 12,100,000	今期剰余金 2,146,800
合計 14,246,800	合計 14,246,800
※45周年記念事業として、IT化推進費1,000,000円を支出。	

薫風会からのお知らせ

- 応援スタッフ大募集中です！ホームページやメルマガジンのデザイン・企画・運営・薫風の編集、幹事会スタッフ、ZO-TAN薫風会アドバイザー、ファンクラブメンバーとして、母校・九州造形短期大学やZO-TAN薫風会 を支えてくださるメンバーを募集しています。ZO-TAN DNA Engineになってください。
- 薫風やメルマガジンに掲載する情報を募集しています。展覧会情報・近況報告・近頃の美味しい店・こんなことしませんか！何でもOKです。HOTな情報をお持ちしています。
- ホームページトップ画面を飾る作品を募集しています。kunpu galleryにご参加ください。
- まだまだ、あるよ！「薫風会」きらくたーデザイン・愛称も募集中です。詳しくは、募集要項をご覧ください。
- It's gallery 第1回「ZO-TANな人たち展」もご参加ください。

同窓会薫風会「イメージキャラクターと愛称」募集要項

募集内容

九州造形短期大学同窓会薫風会を広く親しみやすくPRする為の、キャラクターのデザインとその愛称を募集します。

応募資格

九州造形短期大学在学学生、卒業生であればみなでも応募できます。

応募期間

平成 24 年 8 月 1 日（水）～平成 24 年 9 月 30 日（日）（郵便の場合は当日消印有効）

応募方法

1. 郵送またはメールにてご応募下さい。
2. キャラクターデザインは、A4 用紙を縦に使い、キャラクターの図案（カラー）、作品の説明（コンセプト等）及び応募者の氏名、住所、電話番号、卒業生の場合は、学科・コース・卒業年を、在学生の場合は入学年を明記して郵送するか、メールにてご応募下さい。
3. キャラクターの愛称は、ハガキにキャラクターの愛称、愛称の説明（コンセプト等）及び応募者の氏名、住所、電話番号、卒業生の場合は、学科・コース・卒業年を、在学生の場合は入学年を明記して郵送するか、メールにてご応募下さい。

提出方法・応募先

1. 郵送
〒813-0004 福岡市東区松香台 2 丁目 3 番 2 号 九州造形短期大学同窓会薫風会「イメージキャラクター・愛称募集」事務局
※郵送の際は、作品が折れないように厚紙等を入れてください。
2. メール応募
キャラクターデザインは「デザイン募集」、愛称は「愛称募集」として、件名入力下さい。
送付先メールアドレス：n.arimura@ad-kjco.com
キャラクターデザインの添付画像の容量は2MB 以下にして下さい。ファイルは「JPEG・GIF・PDF」形式のいずれかで送信して下さい。

選 考

九州造形短期大学同窓会「イメージキャラクターデザイン・愛称募集」審査委員会により決定します。
※審査は九州造形短期大学教授及び同窓会理事会選考担当者が行います。

発 表

1. 平成 24 年 10 月下旬頃発表。
2. 九州造形短期大学同窓会薫風会ホームページで発表します。受賞者には、直接通知します。

賞及び副賞

「キャラクターデザイン」：最優秀賞 1 点 優秀賞 3 点 副賞：画材文具セット
「キャラクター愛称」：最優秀賞 1 点 副賞：画材文具セット

応募規定

1. 盗作・模写・自作でない作品、あるいは発表済みの作品とみなされた場合、発表後であっても入選、入賞を取り消します。
2. 応募点数に制限はありませんが、応募 1 件につき 1 作品とします。
3. 応募に当たり要する経費は、応募者の負担とします。
4. 採用作品の著作権、二次使用权、商品化権、放送権等の一切の権利は九州造形短期大学同窓会薫風会に帰属します。
5. 採用作品の使用の際には、応募者に断り無く補作・修正させて頂く場合があります。
6. 採用作品には、応募者に断り無く別の名前（愛称）を付けて使用する場合があります。
7. 応募作品は、採用不採用を問わず返却致しません。
8. 応募に伴う個人情報は、本募集に関する目的以外に使用しません。
9. 公序良俗その他法令の定めに対するもの、誹謗中傷を含むもの、第三者の権利を侵害しているものは審査の対象外となります。
10. 採用決定後であっても、これらの規定に違反していたことが判明した場合、採用及び入賞は無効となります。

第 1 回「ZO-TAN な人たち展」開催決定！

9月18日(火)～福岡アジア美術館前の「It's gallery」にて開催されます。
皆さまのご参加、ご来場をお待ちしています。詳しくは、募集要項をご参照ください。

第 1 回「ZO-TAN な人たち展」参加募集要項（サブタイトル：九州造形短期大学の仲間達展）

趣 旨

九州造形短期大学関係者の創作及び交流、展示機会を提供し、大学広報活動や美術振興に寄与する。美術愛好者との交流の場をつくる。

参加資格

九州造形短期大学在学学生、卒業生、公開講座受講生、招待教員

会期会場

平成 24 年 9 月 18 日（火）～23 日（日）11:00～19:00 23 日は 17 時まで
It's gallery 福岡市博多区上川端町 11-289 TEL:090-8915-3574(福岡)

参 加 費

学生 1,000 円 卒業生・受講生 3,000 円 1 人 1 点とします。

出品作品

平面、立体、デザイン、工芸、写真などの美術造形作品、販売可能な作品に限る。
平面作品は 10 号若しくは B3 サイズ迄とします。立体造形物は 30 cm×30 cm×60 cm迄とします。
(招待作家は販売を含め、別規格とします)特別な台座が必要な場合は、搬入時にお持ちください。
搬 入：9 月 17 日（月）11:00～13:00 の間に会場に搬入ください。宅急便等で送る場合も同じです。
必要により保険を掛けて下さい。期日迄に搬入されなかった場合は、辞退とします。
搬 出：9 月 23 日（日）17:00～18:00 の間に搬出ください。期日迄に搬出されない場合は、着払いで返送しますので、保険料と返送費をお支払いください。
※販売成立の場合、販売価格の 30%を参加費とは別に It's gallery に支払うものとする。展示即売としますが、会期終了後に引き送る場合は、自己責任でお届けください。
※会期中の会場当番をして下さい方を募集します。ご協力頂ける方は、参加申込書に必要事項をご記入ください。調整後、願ひする方に事務局より後日、連絡を致します。
1 日分の交通費・昼食費として 2,000 円をお支払いします。

参加申し込み方法

参加希望者は、期日までに申込書と参加費を「ZO-TAN な人たち展」事務局までお送りください。
申し込み多数の場合、会場の都合で参加をお断りする場合があります。
申込期間：8 月 6 日（月）～8 月 25 日（土） 申込書及び送金到着分とします。
申込郵送先：811-1111 福岡市早良区脇山 1-9-7 TAKU STUDIO
「ZO-TAN な人たち展」事務局
送 金 先：郵便口座 17420-65653921 安部順是
お手持に発行される伝票を展覧会の会計処理が終了するまで、お手元に送金下さい。
送金料は各自負担とします。送金後、出品者の都合で参加辞退された会費は返金されません。
広 報：ギャラリーや同窓会広報担当で行うが、参加者にも積極的な協力を要請する。
ポスターや DM を作成。参加者には 1 人 20 枚を配布する。
DM は 9 月 1 日発送で「ZO-TAN な人たち展」事務局より登録された住所にお送りします。
問い合わせ先「ZO-TAN な人たち展」事務局 代表 安部 順是 ☎090-4351-8380

参加申込書

参加資格(下記のいずれかを○で囲んでください)
在校生・公開講座受講生・招待教員
卒業生()年度入学()科、コース
■氏 名()
■よみな()
■住 所/郵便番号()
■TEL()
■携帯電話()
■E-mail アドレス()
■作品名()
■大 き さ()
■技 法()
■売価(税込み価格)()円
■参加費送金日()月()日()円
■送金金額()円
■作品搬入方法()
■作品搬出方法()
■作品保険の有無 無・有()円(保険は自己契約負担です)
■会場当番可能日の有無と日時 不可・可(日時)月()日()日
※会場当番は可能な方のみお書きください。
※携帯電話、E-mail アドレスはお持ちの方のみお書きください。
※情報は、第 1 回「ZO-TAN な人たち展」運営に限り使用、個人情報には DM 表記しません。

展覧会助成制度・クラス会援助金制度のご案内

◎「展覧会援助制度」について

在学生や卒業生の制作発表を支援する制度です。申込資格や申込手続は、同窓会窓口やホームページでご確認ください。

◎「クラス会援助金制度」について

同窓生間の交流親睦を助成推進する制度です。申込資格や申込手続は、同窓会窓口やホームページでご確認ください。

展覧会助成

九州造形短期大学「博多ドキュメント」写真展 -2005～2012 学生がとらえた-

■会場：キャンギャラリー福岡
■期間：2012 年 9 月 6 日(木)～9 月 18 日(火) 9:00～17:30 土・日・祝休館
■後援：九州造形短期大学同窓会

CANON GALLERY

キャンギャラリー福岡 (092)281-1400
〒812-0044 福岡市博多区綱場町 4-1 福岡 RD ビル 1F

会員の活動など

もの創りとは何か 山本 伸セイ

現在、日本を謳う環境は厳しいものです。しかし、こんなときこそ人と人の連携が鍵になるのではないかと思います。私が尊敬するバルセロナの建築家アントニオ・ガウディは次のように言った。「人は何かを成す為に世の中に生まれてきたのであり、人はそれを行進しなければならぬ」と。これは、一人一人が何らかの形で手を動かし行動することだといえます。いま、目の前にある「事」あるいは、やりたいことを少しづつでもよいから続けること、やり遂げることです。芸術の目的は個性の領域を広げることであり内面的な変革をともなうものなのです。どのような表現方法でもかまいません。まず、その場と立つこととして、1パーセントでも良いからその中に自分らしい創造力を盛り込んでください。芸術作品には、創りひとが自らの体験を通して湧き出てくる泉のことです。それは、人々の癒しの泉になるのです。

Message

博多の街を眺めると、年々変化しつつある。ついこの間まであった古い建物が無くなり、暫くするとビルに姿を変えている。時代の名残を残す建物が少なくなり、街が持っていた雰囲気や情景が一変してゆく。写真はその時々を写すことによって、二度と見ることをできない情景が写し留められている。「ドキュメンタリー写真」という授業を九州造形短期大学の写真専攻で行い、8年前から毎年「博多」を課題撮影してきた。ここでいう博多は、山笠における「流れ」の地域割に限定して撮影を行った。学生たちが写したのは街の情景、物のクローズアップ、そして人々のスナップなど。博多の街の移り変わりなどや街の一情景として、博多の雰囲気が伝えられれば幸いです。

49歳、造短卒業から九産大編入へ 尾形 満蔵

貴い家庭に育ち中学時代からアルバイトをしていた私は、学費のかかる芸術を学びたいと両親に言えず大人になった。定年後に好きな芸術を楽しむと考えていたが、四十歳を過ぎてから「老後芸術を始めると充実して楽しめないのでは無い。元気がいられる保障もない。」と思うようになった。母親の介護で仕事が思うように出来なくなったこともあり、気力と財力がある今がその時と決心し、造短へ入学した。周囲からは「仕事を辞めるのはもったいない」と言われた。しかし私は、仕事をして物欲は満たせても、幸福にはなれないとあらためて感じていた。母親は私の短大入学後すぐに他界してしまっが、造短での生活は仕事をしていた頃よりも、限られた一日を大切に過ごした。抑圧されていたものが一気に噴出するように制作に取り組み、県展での入賞や卒業制作での最優秀賞という成果を得ることができた。四月からは、九産大の三年次へ編入。まだ、教授の力添えがなければ制作はできず未熟な面ばかりだが、制作したいことや、学びたいことが、胸の中であくなくん服けつていく。与えられた自分の人生、今のこの環境に感謝している。人生が終わるまで、情熱的に生きることが私の使命だと思ふ。

自然を作品に込めて 田中 稔大

福岡県筑後市の出身です。現在私は、実家の藍染田中耕工房(久留米耕の工房)に務めています。今年の6月に、重要無形文化財久留米技術保存会会員になりました。私は自然を好み、よく誰もいない雑音のない場所に行きます。自然の振るく音、鳥の鳴き声、そして風の音……。さまざまな音からインスピレーションをうけ、作品を作っています。その時々を感じる「音」を久留米耕の伝統を守りながら作品化することが、自分の役割だと思っています。これからも自然とたくさん戯れ、作品をつくり、皆様にお届けできたらと思っています。

学長挨拶「2012年 夏」吉武 弘喜(会則改正により名誉会長に就任)

写真

写真：気分は未だ造形のエースだが

早いもので、私の学長としての任期もあと 1 年となりました。少子化が続く中で、私が短大に着任してからこの 5 年の間に全国の短大はほとんど学生が減少してしまいました。特に経済的な環境の悪化もあって美術系の大学・短大、高校への志願者が大幅に減少しています。美術系短大への志願者は、10 年前の 2 割にすぎません。そのため、短大をやめて 4 年制大学に切りかえたり、美術分野から撤退する短大が多いわけです。一時期は「美術」や「芸術」という言葉は魅力的な言葉で、美術・デザインを名乗る学科・コースを持つ短大は全国に 30 校以上もあったのですが、今ではもう 12 校しかありません。本学の学生数も最盛期の半分以下の 300 人ほどにまで減少しました。しかし存在の大きさという点では、本学の存在価値は相対的に高まっています。平成 5 年頃、九州造形短大の学生数は全国の芸術系（音楽を含む）短大学生数の 3％でしたがいまは 6％になっています。気が付いてみると本学の規模は全国的美術短大のベスト 3 です。昨年も書きましたが、本学は、美術系の短大として存在意義が高まっています。比較的低い学費で、充実した教育をおこなう伝統ある短大として、経済成長が止まった時代においてこそ、役割を果たして行ける学校であると思っています。

退任の挨拶「健やかな毎日を!」岩田 綾彬

写真

写真：気分は未だ造形のエースだが

1 月 19 日、メールボックスに同窓会会長の安部氏より「薫風」原稿依頼の投函が有る。研究室を明け渡す為、おかたの書類等は荷造り中、今さら手帳や写真を取り出すのも面倒である。手元に残した履歴のメモから 1974 年（昭和 49 年）にデザイン科講師として就任したことになっているが……。同窓会へのメッセージとすれば、勤務した 38 年間は、すべて学生委員で、当然ながら、いつでも学生と共に過ごしてきた。コンクールやコンペの賞などの表舞台でのさまざまなドラマと、残念ながら卒業できなかった学生との思い出……。実に多くのドラマがあった。私が、大学に勤務した 38 年間に、交通事故などで亡くなった学生は 5 名だったと記憶している。芸術に熱い思いを持つ同志として、毎日を大切に、今の幸せや、さまざまな出会いに感謝して、一杯一生生きて欲しいと願う。私が生れて、今日までの 66 年間は戦争がない平和な日本とはいえず、色んな事件事故が巷で起きている。同窓会の皆さんは、若くして亡くなった旧友の分まで天命を全うして欲しいと願う。

短大からのお知らせ

平成25年度 入学試験日程						
区 分	エントリー申込期間	面談日	願書受付期間	合格発表日	入学手続締切日	
AO入試	平成24年8月24日(金)～平成25年2月4日(月)	平成24年8月27日(月)～平成25年2月6日(水)	I期 平成24年8月27日(月)～平成24年10月1日(月)	平成24年10月9日(火)	平成24年12月19日(水)	
			II期 平成24年10月2日(火)～平成24年11月9日(金)			
			III期 平成24年11月10日(土)～平成24年12月13日(木)			
			IV期 平成24年12月14日(金)～平成25年2月8日(金)			
平成24年12月25日(火)～平成25年1月6日(日)の間は、エントリー受付は行わない。						
入試区分	願書受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日		
推薦入試 学校推薦Ⅰ期 学校推薦Ⅱ期	平成24年10月12日(金)～平成24年10月31日(水) 平成24年11月30日(金)～平成24年12月10日(月)	平成24年11月11日(日) 平成24年12月15日(土)	平成24年11月19日(月) 平成24年12月21日(金)	平成24年12月19日(水) 平成25年1月25日(金)		
一般入試 I期 II期 III期	平成25年1月7日(月)～平成25年1月21日(月) 平成25年2月4日(月)～平成25年2月21日(木) 平成25年2月26日(火)～平成25年3月7日(木)	平成25年1月26日(土) 平成25年2月25日(月) 平成25年3月14日(木)	平成25年2月4日(月) 平成25年3月5日(火) 平成25年3月15日(金)	入学金平成25年3月4日(月) 修学費平成25年3月25日(月) 平成25年3月25日(月) 平成25年3月25日(月)		
指定校制推薦 一般	平成24年10月12日(金)～平成24年10月31日(水) 平成25年1月7日(月)～平成25年1月21日(月)	平成24年11月11日(日) 平成25年1月26日(土)	平成24年11月19日(月) 平成25年2月4日(月)	平成24年12月19日(水) 入学金平成25年3月4日(月) 修学費平成25年3月25日(月)		
社会人入試	平成25年1月7日(月)～平成25年1月21日(月)	平成25年1月26日(土)	平成25年2月4日(月)	入学金平成25年3月4日(月) 修学費平成25年3月25日(月)		

オープンキャンパス

No	区分	開催日	実施内容
1	プチ	5月19日(土) 10:00～15:00	①施設見学 ②入試相談会
2	プチ	6月30日(土) 10:00～15:00	①施設見学 ②入試相談会
3	オープンキャンパスウィーク	授業見学等 7月24日(火)・25日(水)・26日(木) オープンキャンパス 7月29日(日) 9:30～15:00【九産大と同時開催】	①授業見学 ②施設見学 ③入試相談会 ①施設見学 ②入試相談会 ③作品展示 ④体験学習
4	プチ	9月1日(土) 10:00～15:00	①施設見学 ②入試相談会
5	プチ	10月6日(土) 10:00～15:00	①施設見学 ②入試相談会
6	オープン	10月21日(日) 9:30～15:00【九産大と同時開催】	①施設見学 ②入試相談会 ③作品展示 ④体験学習
7	プチ	11月3日(日) 10:00～15:00【香樟祭期間中】	①施設見学 ②入試相談会 ③作品展示 ④その他学園祭見学
8	一日体験入学※	3月22日(金)	①体験入学等②「イ・ラ」、施設見学、在学生との懇談等

公開講座日程表

（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）			
月／曜	火曜日開講日	土曜日開講日	
4 月	10・17・27	14・21・28	
5 月	8・22・29	12・19・26	
6 月	5・12・19	9・23・30	
7 月	3・10・17	7・14・21	
8 月		夏休み	
9 月	11・18・25	8・15・29	
10 月	9・16・23	6・20・27	
11 月	10/30・13・20	10・17・24	
12 月	4・11・18	1・8・22	
平成 25 年 1 月	8・22・29	1/12・2/2・9	
2 月	5・12・19	16・23・3/2	
3 月		春休み	

第 1 回 同窓会大賞 平成 23 年度卒業制作展

同窓会大賞 受賞のこぼし／浦川 佳奈美

始めに、同窓会大賞という賞の第一回受賞者に選んでいただけことを大変嬉しく思い、感謝致します。私は今まで卒業制作の作品以外に大きな作品を作ったことが無く、染色を勉強したのも短大からだったため、色々な事が新鮮で、とても楽しみながら作ることが出来ました。しかし、気候等に影響を受け、全てが手作業であるこの作品は、根気のいる作業の連続でもありました。そんな、作業を朝から晩までずっとそばにいて、ご指導してくださった蔵樂先生には本当に、本当に感謝しております。

同窓会賞 受賞のこぼし／瀨砂 志穂

卒業という節目に、このような賞をいただき、二年間の学生生活が無駄ではなかったことを実感しました。作品を通して、デザインをすることの面白さや必要性を知り、その他にも沢山のものを得ることができました。とても貴重な体験をさせてもらったと思っています。短い制作期間の中で、完成することができたのは、協力してくださった方々のおかげだと思います。自分は至らないところばかりでしたが、卒業制作を通し成長できたような気がします。本当にありがとうございました。

同窓会賞 受賞のこぼし／小田 恵利花

九州新幹線が開通して 1 年が経ちました。地元である「筑後船小」も駅が出来たことにより、活気が出てきたように感じます。日常の大切さを考えさせられる 1 年間、自分なりに変わり行く故郷と向き合った結果を評価していただけて、とても光栄に存じます。同窓会の皆様、ご指導いただいた先生方、ご助力を賜ったすべての方々にお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

同窓会賞 受賞の言葉／小松 未奈

この度は、同窓会賞を受賞し、大変うれしく思います。九州造形短期大学で過ごした 2 年間は私にとって特別なものです。卒業研究のキャンドルナイトをテーマにした制作は、大変なこともありました。何をメインに、どう表現するのが一番良いか、悩むこともありましたが、研究室の先生や、友人など多くの人に助けられて、こうして賞のいただける作品になりました。これからも、卒業研究に注いだ熱意を失う事なく、良いモチづくりが出来るように努めます。本当にありがとうございました。

卒業制作展の様子